

コロナ激変の時代を生き抜く

「安定」を目指す人が最もやってはいけない誤解

行列FP 林健太郎

By 林FP事務所

安定に対する大きな誤解

■ 人は安定を求めて動いている？

- 半分当たっていて、半分間違っている？
- 安定とはなにかを理解する必要がある。安定とは、固定化することではない。生き残ること。
- 世界は変化し続けている

■ 「人類は小麦に家畜化された」 (サピエンス全史)

- 小麦を栽培することにより、移動の必要がなくなる反面、小麦の栽培に適した場所に固定化した→小麦に合わせた
- 人口は増えたが生活水準は低下した→そこから抜け出せなかった
- 固定化への欲求が、我々を不自由にさせる

■ 大企業や公務員が安定している？

- 安定=変化しないこと、であれば確かにこれらは適しているかもしれない
- 概念や組織が固定化した時点から崩壊が始まる
→変化し続ける外部環境に（徐々に）対応できなくなるから

ではどうすればいいのか？

- 変化を受け入れ、変化し続けることが本当の意味での安定
 - 「変化し続ける状態」こそが安定である（ピーター・センゲ「学習する組織」）
 - 変化できる組織、環境にありますか？
 - あなた自身は変化に対してどうですか？
- 価値（ビジネス）を創造し続ける
 - 会社員であれ、社長であれ、個人事業主であれ...この原則は変わらない
- あなたがいる場所は、価値を創造しやすい環境ですか？
 - 新しいことにチャレンジしやすいか、推奨されているか
 - 失敗を許容できる環境か
 - 固定化欲が強い環境は不自由で、外部から取り残され、減んでいく
 - ちなみに日本のグローバルイノベーションランキングは主要60カ国中32位（2019年）と、下半分に位置。このままではコロナ禍でさらに生き残りが難しくなる...？

まとめ

1. 変化することが本当の安定

- 変化できない→不安定

2. 変化しやすい環境に身を置くことが大事

- 人は環境に影響されやすい。固定化欲の強い組織（大企業、公務員、特定の業種etc...）では生き残れない可能性が高まってしまう

変化を受容し、変化を楽しもう

無料プレゼント中！



詳しくはこちら



<https://startup-fp.com/presentpdf>

行列のできるFP事務所プロデューサー 林健太郎

By 林FP事務所